

The title
6

株式会社決断力
代表取締役
高島 徹

URL <https://decision.ne.jp>
E-mail takashima@decision.ne.jp

ハートグラム診断でわかる！ ピープルスキル時代の働き方

1年以上続くコロナショックで、あなたは何かを感じましたか？ 私は「ピープルスキル」（人間関係を円滑に進める能力）の大切さが高まったことを、強く感じます。リアルで会うことが難しい今だからこそ、知人などに会うとホッとしますし、人間は社会的な生き物なので、お互いの存在をととてもありがたく感じます。本稿で、その本質を探ってみましょう。

コロナショックの 社会変化で気付いたこと

リモートワークやオンライン会議をしていても意外なほど伝わるのが、その人の人間性です。リアルで会っていたときにはあまり感じなかったのに、オンラインになると「なんか感じ悪い」という人がいませんか？ この問いかけをしてみると、ほぼ全員が「Yes」と答えます。

図1 ビジネススキル理論（一部加筆修正）

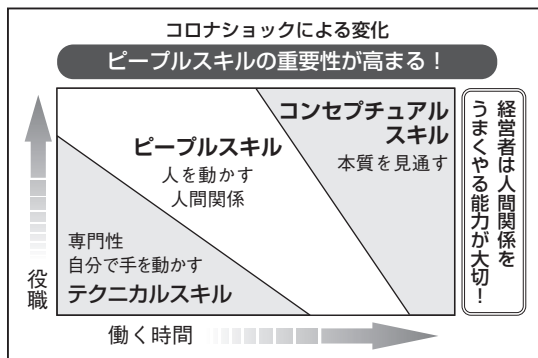


図1は、経営学者のロバート・カッツが唱えたビジネススキル理論に、私を加筆修正したものです。

・縦軸に「役割」
・横軸に「働く時間」
を取りますが、若くて、階層が低いときは、自分の手を動かすテクニカルスキルが大きなウエイトを占めます。接客やものづくり、営業、ITなど、自身が身に付けないと仕事になりません。
しかし、階層が上がって行くにしたがって「ピープルスキル」（人

間関係を円滑に進める能力）の重要性が高まります。人を動かしてチームで仕事をするには、人間関係を良好に保つ必要があります。これまでは、ビジネススキルというとテクニカルスキルとほぼ同義でした。確かに自分で手を動かすことも大事なのですが、チームワークが良くないと成果は上がりにくく、それは普段の人間関係が基盤になっているからです。コロナ禍で多くの人が、このことに気付いたのです。

コロナショックで 明暗を分けたもの

● 「ハートグラム診断」とは

コロナショックで多くの会社が経営難に遭遇しましたが、なんとか危機を克服した会社と、なかなか立ち直れない会社に大きく分かれています。これは一体どうしてなのでしょう？

私は、ピープルスキルの診断ツール「ハートグラム診断」を提供しています。25枚の質問カードを

図2 「ハートグラム診断」日本人による回答の分布



使って行い、質問に答えていただくことで簡単にあなたのタイプが分かります。

質問に対する回答の分布（日本人、五千人強）は、

- ・従順な行動の「犬」タイプ60%
- ・人を気遣う「天使」タイプ30%
- ・「キリギリス」「アリ」「裁判官」タイプ10%

という割合で、経営者やビジネスパーソン、年齢など、属性により

分布は違います（図2）。

今回、特に着目したのはコロナショックからの立ち直りにおける「裁判官」と「天使」の関係性になります（図3）。

この1年、厳しい現状で頑張っている多くの経営者を見ってきました。その中でコロナショックをうまく乗り切った事例を分析してみると、自分にも他者にも厳しい裁判官タイプは、危機を上手に乗り

図3 コロナショックへの対応



切っています。また、新しいことに挑戦するキリギリスの要素が多いと、斬新なアイデアで新しい事業や顧客を開拓しています。さらに、オンラインへの対応もしっかりとできています。

また回答の分布では、自力で頑張る裁判官の要素が少なく、様子見で周りに従う犬タイプの経営者の場合は、行政や政治頼みでじっとしてダメになりました。

●情けは人の為ならず

では、回答に裁判官の要素が多ければいいのかと言えは「No」です。天使が少ないと中長期ではうまくいきません。

裁判官は生き残るために他者のことなど構わずに進み、何とか今回のピンチは脱出できますが、いざ反感を買ってしまいます。マスク不足のときに高値で売った人は、個人としてはうまくやったかもしれませんが、他者への配慮を欠いた行動の典型例です。

裁判官の要素が多く、天使も多い経営者は、周囲と助け合ってピンチを脱出しています。「自分で

お役に立てるなら」「困ったときはお互い様」コロナショックは人間の醜さも明らかにしましたが、多くの美談もあります。

「情けは人の為ならず」情けは巡り巡って、必ず自分に良い報いが返ってくるものです。

学歴よりも学習歴 生涯学習の重要性

●家庭を大事する

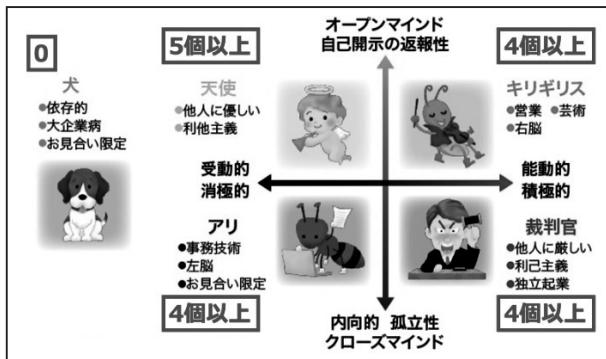
学歴がなくても大成功した人の伝記をハートグラムで分析してみると、質問の回答の分布が図4のパターンになります。

成功者は「裁判官」の要素が多いが多いので頑張りますが、それ以上に「天使」の要素が多いことが分かります。

そして、テクニカルスキルとしての「キリギリス」「アリ」もたくさんあります。

一方で「犬」の要素はなく、問題が起きて「なにくそ負けないぞ！」と、自立心旺盛で頑張りますが、周囲への配慮も大事にしま

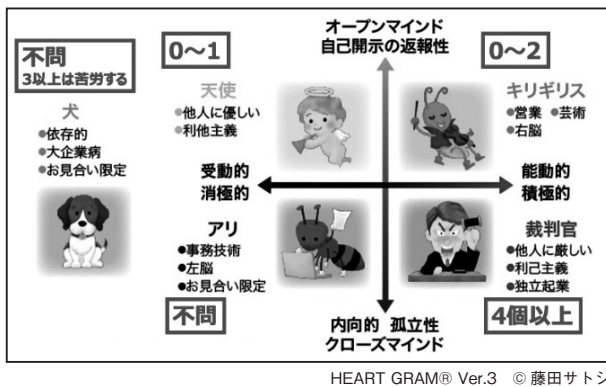
図4 学歴がなくても大成功する人



す。そういう人のところに多くの人が集まってきて、同時にお金も動きます。お客様や従業員の心をとらえ、事業が大きく発展するにとしましょう(図4)。

「自分だけうまくいけばいい」という考え方の経営者は、裁判官の要素が多く、天使が少ないために常に人間関係のトラブルが絶えません。従業員、取引先だけでなく、家族との関係も悪いことが予測されます。人の協力を得ることができないために、事業はなかなか発展しません(図5)。

図5 事業がなかなか発展しない経営者



●人と共に生き、働く

周囲で「この人とは、長くお付き合いしたい」という方を思い浮かべてください。次に「この人には、お金をくれるから頭を下げているんだ」という方を思い浮かべてください。お付き合いしたい人物は、ピープルスキル＝天使の要素が多い人です。お付き合いしたくないと思った人物は、ピープルスキルが少ない人なのです。

これまでの日本社会は、テクニカルスキルばかり重視してきましたが、これからはピープルスキル

図6 3分で学べる youtube 動画

	■ 歴史に学ぶ 人間学 https://www.reservestock.jp/subscribe/132184
	■ 論語に学ぶ ビジネス人間学 https://smart.reservestock.jp/subscribe_form/index/127597
	■ 中国古典に学ぶ 人生の知恵 https://smart.reservestock.jp/subscribe_form/index/127068
	■ あなたの心を穏やかにする 一日一語 https://smart.reservestock.jp/subscribe_form/index/125342

を生涯かけて学ぶ時代になりました。学歴の本質は、所詮20歳そこそこまでに学校で学んだ知識のことです。もちろん、人生ではそれらの知識も大事ですが、人生100年時代は、学校で学んだ知識だけで乗り切れるほど甘いものではありません。

今後は、テクニカルスキルに加えてピープルスキルも学び、経営者、管理職として「人と共に生き、働く」ことを、生涯を通じて探求してください。宜しければ私が制作した3分で学べるYouTube動画を是非ご覧ください(図6)。

貴社の事業のご発展と、皆さまの幸せな人生を応援します。